

◆ 今週のコメント

- ・ 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が1例(31週追加報告分)(70歳代女性)あり、症状は発熱、菌血症で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は8例です。
本疾患はインフルエンザ菌(H.influenzae)によって引き起こされる感染症で、a～fの6つの型に分類されます。このうちb型(Hib(ヒブ))に対してはワクチンがあり、平成25年4月から5歳未満の小児を対象に定期接種化されました。Hib(ヒブ)ワクチンの接種スケジュール等の詳細については、下記URLを御参照ください。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(90歳代男性)あり、症状は発熱、嘔吐、肺炎、菌血症です。感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年の累積報告数は57例となっています。
京都市では、肺炎球菌ワクチンを定期接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLをご参照ください。

- 京都市が実施する定期の予防接種について(子どもの予防接種)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>
- 高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種について
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

◆ 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

- ・ 京都市では腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(30週追加分)あり、平成28年の累積報告数は14例となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 五類: 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例(31週追加報告分)【1月以降の累積報告数 8例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 57例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

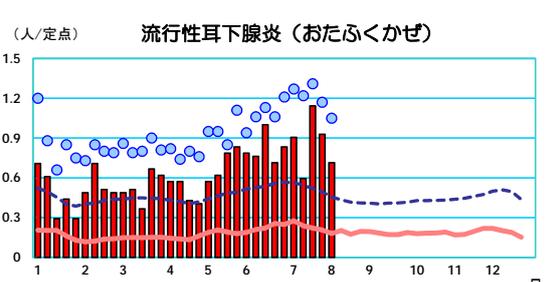
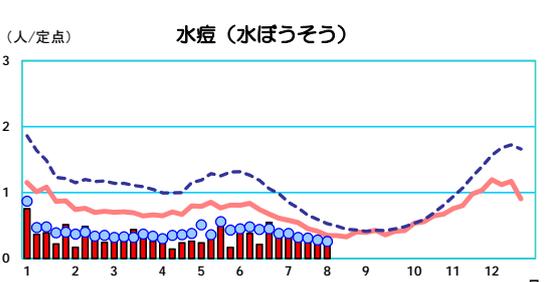
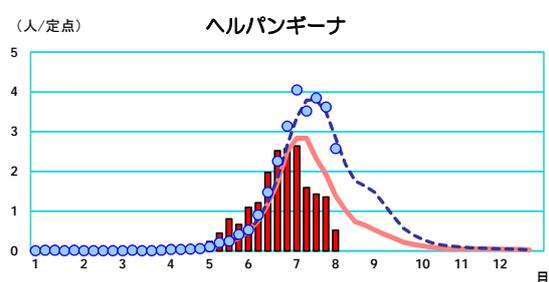
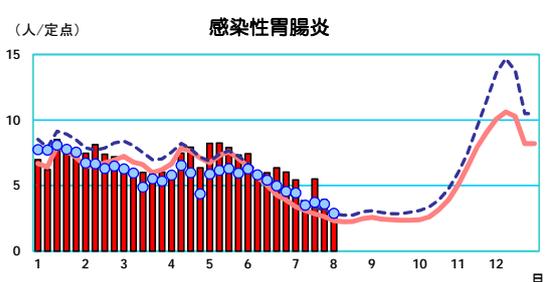
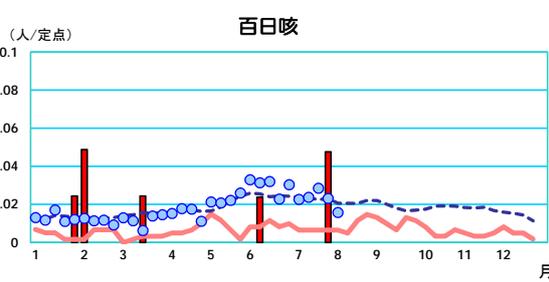
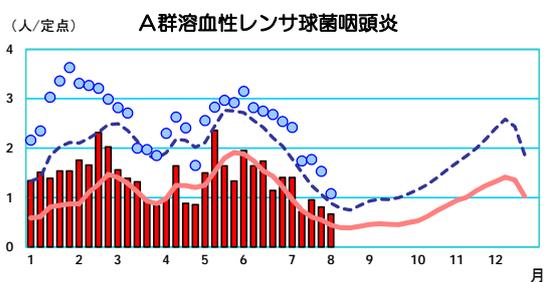
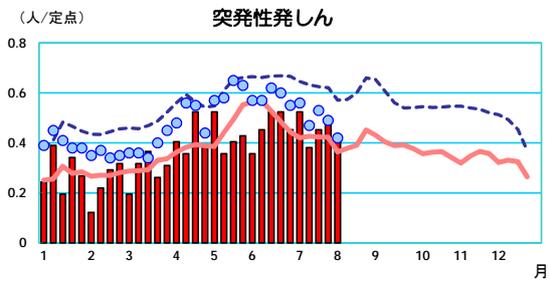
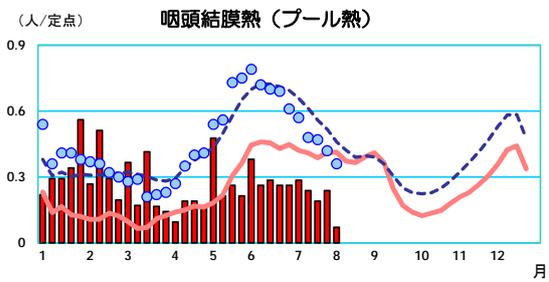
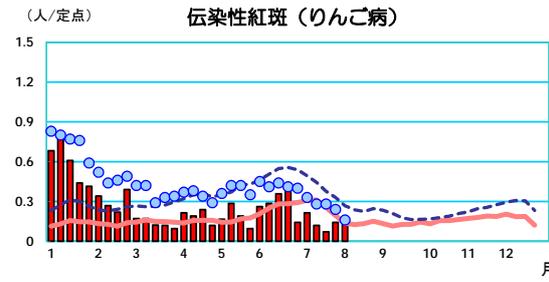
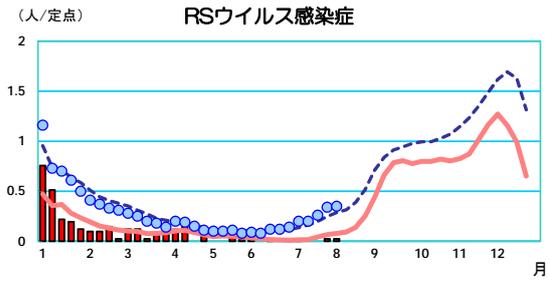
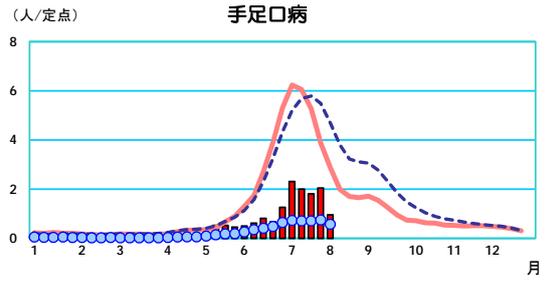
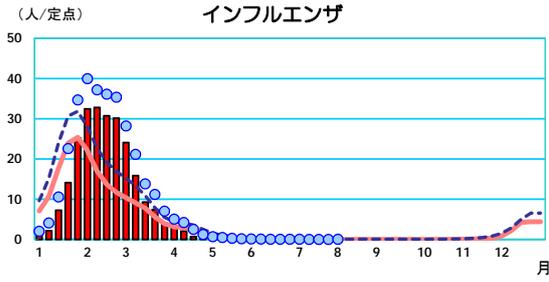
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.74	115
	② 手足口病	0.95	40
	③ 流行性耳下腺炎	0.71	30
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.67	28
	⑤ ヘルパンギーナ	0.52	22
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成28年8月17日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第32週(8月8日～8月14日)トピックス: <腸管出血性大腸菌感染症>

京都市の発生動向

京都市では腸管出血性大腸菌感染症の報告が2例(30週追加分)あり、平成28年の累積報告数は14例となりました(図1)。平成23年～平成28年第32週までの累積報告数は182例で、うち有症状者は134例(73.6%)となっています(図2)。重篤な合併症の一つである溶血性尿毒症症候群(HUS)の発症は、平成23年以降、8例報告されています(表1)。有症状者に占めるHUS発症例は、年齢群別で0～4歳が16.7%と最も多く、次いで5～14歳(8.0%)、15～65歳(4.3%)の順で、低年齢の小児に発症しやすい傾向が見られます(表1、図3)。また、全年齢での割合は6.0%となっています。本感染症は夏季に流行し、例年、9月頃まで報告数が多いことから、発生動向に注意が必要です。

症状

腸管出血性大腸菌感染症は、ベロ毒素を産生する大腸菌を原因とする感染症です。多くの場合、3～5日の潜伏期間の後、激しい腹痛、頻回の水様便で発病し、まもなく著しい血便となります。嘔吐や38℃台の高熱を伴うこともあります。有症者の6～7%において、下痢などの初発症状の数日から2週間以内に、HUSや脳症などの重症な合併症を発症します。HUSは溶血性貧血、血小板減少、急性腎不全を特徴とする症候群で、子供と高齢者に起こりやすく、死に至ることもあります。

予防

食肉の十分な加熱処理、調理器具の洗浄消毒、手洗いの励行などにより、食中毒予防を徹底しましょう。特に子供は重症合併症を起こしやすいので、食肉に限らず食品の取扱いには十分な注意が必要です。また、保育所などで集団発生を起こさないよう、日頃からトイレの後や食事前などは石鹸と流水で手をよく洗い、感染予防に努めましょう。

図1 京都市及び全国の報告数の推移(平成27年以降)

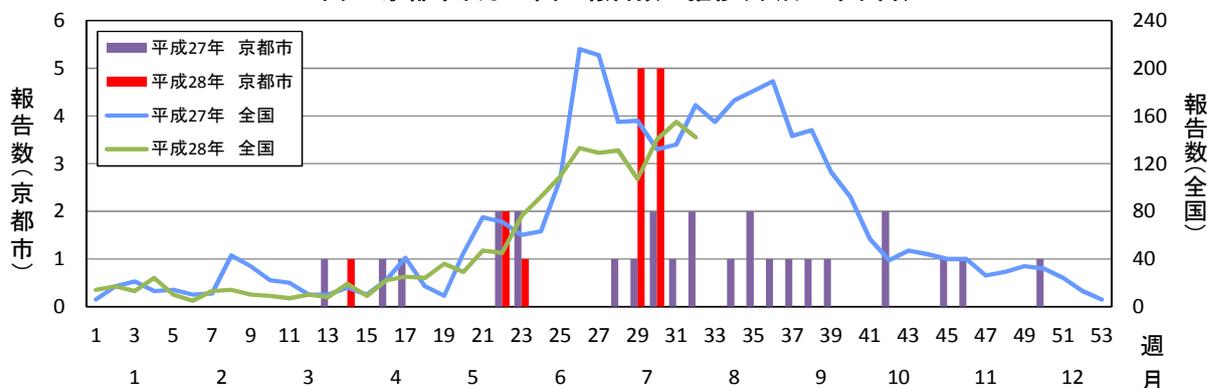


表1 京都市の溶血性尿毒症症候群(HUS)の年齢群別報告数(平成23年～平成28年第32週)

	総報告数	有症状者	HUS発症者
0～4歳	20	18	3
5～14歳	30	25	2
15～64歳	105	69	3
65歳以上	27	22	0
全年齢	182	134	8

図2 京都市の腸管出血性大腸菌感染症の有症状者割合(平成23年～平成28年第32週)

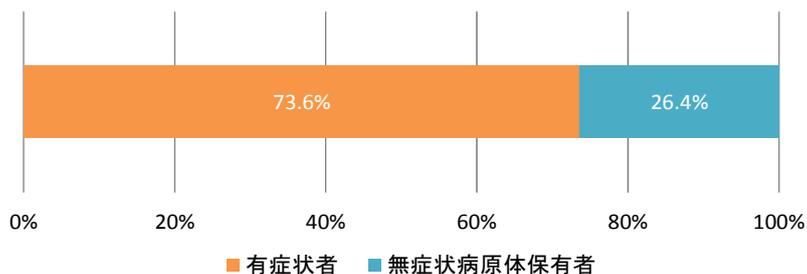
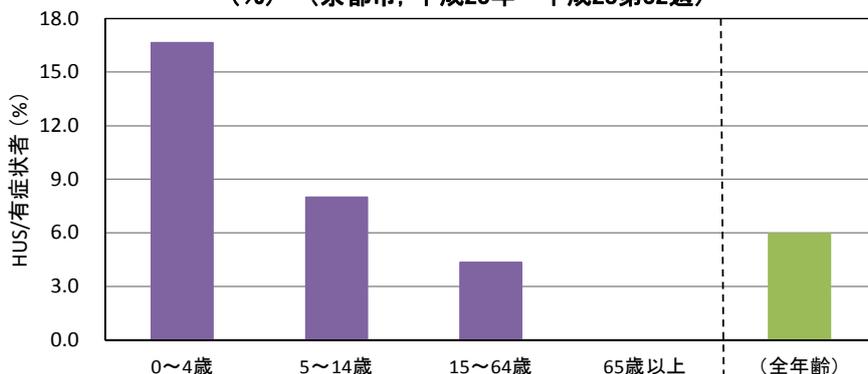


図3 HUS報告数/腸管出血性大腸菌感染症有症状者(%) (京都市, 平成23年～平成28年第32週)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第32週

平成28年8月8日～平成28年8月14日

データ入手日:平成28年8月17日

疾病,行政区別報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	2	11	1	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	1	-	-	7	2	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1	-	1	1	13	2	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	6	10	-	3	-	4	-	7	6	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	3	1	1	3	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	2	8	24	2	10	1	1	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	5	31	5	13	4	7	-	11	7	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	3	14	1	4	1	1	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	1	1	3	28	115	14	40	7	18	-	22	30	-	2	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	百 日 咳	ヘルパンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	-	0.50	-	-	-	0.25	-	0.50	-	-	1.00	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	0.50	-	-	-	0.25	-	0.50	-	-	1.00	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	0.67	3.67	0.33	-	-	0.33	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	0.50	-	-	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	0.33	-	-	2.33	0.67	1.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.33	-	0.50	0.50	6.50	1.00	1.00	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	1.50	2.50	-	0.75	-	1.00	-	1.75	1.50	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	1.00	0.33	0.33	1.00	-	0.67	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	0.40	1.60	4.80	0.40	2.00	0.20	0.20	-	-	1.20	-	1.00	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	0.71	4.43	0.71	1.86	0.57	1.00	-	1.57	1.00	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	0.60	2.80	0.20	0.80	0.20	0.20	-	-	1.20	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.01	0.02	0.07	0.67	2.74	0.33	0.95	0.17	0.43	-	0.52	0.71	-	0.20	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第32週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年8月8日～平成28年8月14日

データ入手日:平成28年8月17日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	3	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	28	-	-	-	-	3	6	4	5	2	2	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	115	-	20	17	14	14	10	4	5	5	4	2	13	4	3	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢3	14	1	1	-	4	2	3	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	40	2	6	13	4	4	5	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	7	-	-	1	-	-	2	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	18	-	6	11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	22	-	4	12	3	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	30	-	-	1	3	3	5	3	4	6	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢1	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢1	0.07	-	-	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢1	0.67	-	-	-	-	0.07	0.14	0.10	0.12	0.05	0.05	-	-	-	0.14	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	2.74	-	0.48	0.40	0.33	0.33	0.24	0.10	0.12	0.12	0.10	0.05	0.31	0.10	0.07	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢3	0.33	0.02	0.02	-	0.10	0.05	0.07	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.95	0.05	0.14	0.31	0.10	0.10	0.12	0.07	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.17	-	-	0.02	-	-	0.05	0.05	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢3	0.43	-	0.14	0.26	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢3	0.52	-	0.10	0.29	0.07	-	-	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢3	0.71	-	-	0.02	0.07	0.07	0.12	0.07	0.10	0.14	0.02	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢2	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	0.10	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第32週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年8月17日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	1	-	-	-	-	1
RSウイルス感染症	1	1	-	-	1	1
咽頭結膜熱	11	12	10	8	10	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	59	30	40	34	28
感染性胃腸炎	253	228	143	231	164	115
水痘	18	17	14	10	10	14
手足口病	53	97	84	76	86	40
伝染性紅斑	6	9	5	3	6	7
突発性発しん	19	22	16	19	20	18
百日咳	-	-	-	-	2	-
ヘルパンギーナ	108	111	67	60	57	22
流行性耳下腺炎	35	38	25	48	39	30
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	5	4	-	2	2
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	1	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	567	599	398	495	432	281

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.01	-	-	-	-	0.01
RSウイルス感染症	0.02	0.02	-	-	0.02	0.02
咽頭結膜熱	0.26	0.29	0.24	0.19	0.24	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.40	1.40	0.71	0.95	0.81	0.67
感染性胃腸炎	6.02	5.43	3.40	5.50	3.90	2.74
水痘	0.43	0.40	0.33	0.24	0.24	0.33
手足口病	1.26	2.31	2.00	1.81	2.05	0.95
伝染性紅斑	0.14	0.21	0.12	0.07	0.14	0.17
突発性発しん	0.45	0.52	0.38	0.45	0.48	0.43
百日咳	-	-	-	-	0.05	-
ヘルパンギーナ	2.57	2.64	1.60	1.43	1.36	0.52
流行性耳下腺炎	0.83	0.90	0.60	1.14	0.93	0.71
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.30	0.50	0.40	-	0.20	0.20
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	1.00	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	13.72	14.64	9.78	11.79	11.41	6.83

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。